



走る喜びの 更なる追究

マツダ株式会社
常務執行役員

素利 孝久

自動車への環境、安全に対する世の中の要求はますます高まって来ています。その中でお客様にとって本当に魅力あるクルマを提供し続けていきたい。その思いでここ数年取り組んできたCX-5以降のSKYACTIV 技術を核としたマツダの新世代の商品造りについてお話ししたいと思います。

マツダの商品造りの考え方

マツダの商品・技術の根幹にある考えは、「マツダ車のすべてのお客様に、『走る喜び』と『優れた環境・安全性能』をお届けする。」というものです。一般的には相反する両者を、原理原則まで立ち返って理想を追究することで、高い次元で両立させることをエンジニア全員の志として取り組んできました。

もう一つの視点は、機能的価値と顧客価値の関係性です。機能的価値は顧客価値を高める手段ですが、あるレベル以上では頭打ちとなる傾向があります。マツダでは機能的価値を追究すると共に、デザイン、ハンドリング、操作機器の扱い易さといった数値では表しにくい、人の感性に訴える商品造りを行ってきました。マツダではこれを意味的価値と称して、規模は小さくともお客様にとってなくてはならないOne and Onlyのブランドを目指すための大きなイネーブラーとして、徹底

した人間研究からその価値を追究しています。その大きな柱は、

- ①走る喜び～人馬一体性能
- ②走る喜びを支える安全・安心技術
- ③走る喜びと環境性能の両立
(クリーンディーゼル等)
- ④魂動^{こどう}デザイン

です。今回は前者の2つについて、もう少し詳しくお話ししたいと思います。

走る喜び～人馬一体性能

クルマは私たちを感動させ、ときめきとワクワクを与えてくれて、自分を表現でき、自由に、そして夢中にしてくれる存在とマツダは考えています。人の「操る」という行為にクルマとの「コミュニケーション」が加わり、一緒になって最高の走行状況を作り出すことで『人とクルマが心まで通じ合う』ことをマツダでは人馬一体と称して、ドライバーの呼吸さえも感じとってくれる、人と馬の関係のような、大切なパートナーとなるクルマ造りを目指しています。

これは何も、ワインディングをハード走行するためだけではなく、日常の買い物や家族とのドライブでも感じることでできるものでありたいと考えています。極低速か



らでもクルマを動かした瞬間瞬間の気持ち良さ、意のままに操ることの喜び、そして、何度でも乗りたくなり乗るたびに深まっていく楽しさ、たとえば、クルマの運転が楽しくなり、思わず遠くまで来てしまった、遠くまでドライブする機会が増え、そこでの素敵な風景に魅了され、カメラが趣味になってしまった……そんなお客様にとっての充実感に満ちた生活にも貢献したいと考えています。

また、人马一体は走り出した後の話だけではありません。クルマを見て乗って触れてみて、人とクルマがまるで手足のようにつながっているような感覚が次々に感じられることで、意のままに操れる予感が高まり、そして走り出した後に、意図通りの反応とフィードバックにより、まるで体の一部になった様な一体感を感じ、予感を超える意のままに操る実感を確認していただきます。このように、クルマに触れれば触れるほど、乗れば乗るほど人马一体感が高まっていくことを理想として、一部の性能だけでなくクルマトータルでの造り込みを行っています。

走る喜びを支える安全・安心技術

上述した走る喜びを将来にわたって妥協なく進化し続けていくためには、それを支える安全への取り組みが不可欠です。マツダでは、「クルマ」、「人」、「道路、インフラ」の3つの領域で「事故のない安全なクルマ社会」を目指しています。

「人」の領域では人々への安全啓発、「道路、インフラ」では高度交通道路システムなど交通環境の整備の動きに連携した取り組みを進め、「クルマ」では、ドライバーを理解、信頼、尊重することを重視し、運転する

環境が変化しても、正しく認知・判断・操作することをサポートして、安全に安心して運転していただきたいと考えています。たとえば、ドライビングポジションは人間中心思想によって設計しています。その考え方は、

- ①人にとって理想の運転姿勢を規定する
 - ②理想の運転姿勢に合わせて操作機器を配置する
 - ③正しく操作するために適切な形や特性を造り込む
- であり、無重力状態での宇宙遊泳で人間が自然にとる姿勢に着目し、それを次の操作を素早く正確にできる基本ととらえて理想の運転姿勢を造り込んできました。

更に、人間は時として避けられないミスを起こします。万が一のドライバーのミスにも対応できるように、事故被害を防止・軽減することをサポートする技術も開発しています。ミリ波レーダーやカメラなどの検知デバイスを用いた、ドライバーの認知支援および衝突回避や被害軽減を図るマツダの先進安全技術をi-ACTIVSENSEと総称して開発、提供してきました。そして、どうしても事故が起きてしまった時には、衝突時の乗員の保護、歩行者の保護を高める衝突安全技術でサポートします。

将来的には、いかなる環境下でも360度全方位の認知支援に進化させて、ドライバーの能力を最大限活用すると共に、ドライバーのミスや身体的精神的な状態を常時検知して、万が一の時には安全な場所に移動し事故を防止することをサポートしてくれる、すなわち予期せぬことが起きても助けてくれる相棒が常にそばにいてくれるような安心感、そんな安心感と共に人马一体の走る喜びを楽しめるクルマ社会の実現に貢献していきたいと考えています。

おわりに

先般、4代目となる新型「マツダロードスター」を世界初公開しました。「ロードスター」は、「走る喜び」を追究するマツダのクルマ造りを象徴する商品であり、進化を超えた革新に挑んでいます。中でも徹底的な人間研究から「人がクルマを楽しむ感覚」を磨きあげました。マツダの商品造りは、「人」が主役です。お客様の充実感に満ちた生活、人生の輝きに貢献できるよう、マツダらしい人の感性に訴える商品造りを、ぶれず、たゆまず極め続けて行きたいと思えます。